

114兆円予算案 月内成立

衆院通過 防衛費 参院でも論戦



衆院本会議で2023年度予算案が可決され、一礼する岸田首相=28日午後

「〇二三年度予算案は」十八日の衆院本会議で、与党などの賛成多数により可決され、衆院を通過した。憲法の衆院優越規定に基づき、三月中の成立が確定した。一般会計の歳出総額は百十四兆円超。そのうち防衛費は約六兆八千億円で、いずれも過去最大。防衛費は二二年度当初の一・二六倍に膨張した。野党は防衛費増額に伴う増税に反対しており、少子化対策などと併せて参院審議でも迫及する方針だ。〔論説①面〕

岸田文雄首相は、衆院通過を受け「成立に向けて緊張感を持つて参院の審議に臨み、丁寧な説明を心がけ

ていきたい」と意図で記者団に強調した。立憲民主党の泉健太代表は国会内で記者団に「上積みされた防衛費の内訳は不明で、子ども予算は中身が何も決まっていない。国民の不安が倍増する予算だ」と述べた。

二二年度予算案は、新型コロナウイルス禍や物価高、ウクライナ情勢に機動的に対応するため、二二年度と同じ五兆円の予備費を計上。社会保障費も過去最大の約三十六兆八千億円となつた。

防衛費を巡り、政府は他国領域のミサイル基地などを破壊する反撃能力（敵基地攻撃能力）行使の手段とし、敵の射程圏外から攻撃である「スタンド・オフ・ミサイル」の取得を推進。米国製巡航ミサイル「トマホーク」導入を予定する。取得費として一千三百億円を計上した。

採決では、立民のほか、日本維新の会、共産党、れいわ新選組などが反対。昨年、異例の賛成に回った国參院予算委員会は、二二日に首相と全閣僚が出席する基本的質疑を実施。LGBTを含む性的少数者への理解増進法案や同性婚制度、原発活用に転じたエネルギー政策なども論点になる。

民民主党も反対した。維新など野党四党は本会議に先立つ衆院予算委員会で、予算案の組み替え動議を個別に提出したが、否決された。予算案は憲法に基づき、原則として参院に送付後三十日で自然成立する。このため、二二年度予算案は参院が採決しなくとも三月中に成立する。

参院予算委員会は、二二日に首相と全閣僚が出席する基本的質疑を実施。LGBTを含む性的少数者への理解増進法案や同性婚制度、原発活用に転じたエネルギー政策なども論点になる。